

令和2年度 茨城県立竹園高等学校 グランドデザイン

学校教育目標および育てたい人間像

学校教育目標

「個性と創造性の伸長を図り、社会の要請に応え得る広い視野と、磨かれた知性・たくましい体力・気力を合わせ持つ人材の育成」

育てたい人間像

- ・自己・他者・地域・国際社会などの多角的な視点を持ち、諸問題に対する幅広い関心と理解のもとに調和のとれた課題解決を図ることができる人間。
- ・英語・日本語など複数の言語で議論するコミュニケーション能力を磨き、他者の意見を尊重しながら協働して合意形成を図ることができる人間。
- ・自国の文化や歴史を尊びアイデンティティを確立し、持続可能な共生社会の実現に向けて主体的に考えて行動できる人間。

令和2年度 重点目標

令和2年度重点目標 「SDGs未来都市つくばの国際性豊かな環境を生かした教育活動を行う。」

- ・基本的生活習慣と授業を軸とした学習習慣を確立し、探究活動を通して、社会に対して幅広い関心をもつ(1年, 基礎期)。
- ・興味・関心・適性に応じた自己の伸長を図り、社会に対する理解のもとに、主体的に課題を見つけ解決を図る(2年, 充実期)。
- ・探究活動を通して身に付けた力のもとに、持続可能な社会の形成者となるための進路実現を図る(3年, 発展期)。

豊かな心・高い人間性

- ☆自己を大切にすると他者を思いやる心の育成
- ・生徒主体の学校行事(人間関係の構築力や集団行動力の育成〔特活部〕)
- ・異文化理解・国際理解教育(他人への理解や思いやる心, 合意形成〔企画部, 国際科〕)
- ・ボランティア活動・教科外活動(自己肯定感や自己有用感〔企画部, JRC部〕)
- ・「道徳」・「道徳プラス」(多様な人間力〔学年, 担任〕)
- ・キャリア教育(自己の探究や開拓〔進路部〕)

健康・体力

- ☆心身ともに調和のとれた健康観の育成
- ・部活動(人間関係の構築力や集団行動力の育成〔特活部〕)
- ・文武不岐(心と体の調和〔特活部〕)
- ・自律的な生活態度・規範意識(精神の安定, 社会のルールの尊重〔生徒指導部〕)
- ・健康に対する意識の深化(心身の健康管理〔保健厚生部〕)
- ・自己管理能力(社会の中で安定した心身の維持〔学年, 担任〕)

資質・能力の育成

何ができるようになるか ○学校教育の基本

- ・自ら学ぶ姿勢, 考える力や主体性を持つ自己教育力のある生徒
- ・調和のとれた課題解決を図ることができる生徒
- ・他者の意見を尊重しながら協働して合意形成を図ることができる生徒
- ・自らの在り方を積極的に評価できるような自己肯定感や自己存在感を持つ生徒
- ・自分の意見を自信を持って伝えようとする情報発信力を有する生徒
- ・自ら壁を乗り越え開拓しようとする精神を育む生徒

何が身に付いたか ○学習評価を通じた学習指導

- 〔評価方法〕
- ・ふり返りシートや活動報告書等の作成による自己評価
 - ・生徒自身の成長の記録の保存(ポートフォリオ)
 - ・各教科の観点別学習状況評価・評定
 - ・学校評価アンケート, 教科別評価
 - ・生活実態調査
- ※これまでの努力や成果を冷静に分析・反省し, 新しい目標に向かってさらに成長していけるような評価を実施

生徒の実態(課題)

- ・心と体の不調和
- ・自己肯定感の弱さ
- ・主体的に学習に取り組む態度の不足
- ・人間関係の構築力の弱さ

生徒の発達をどのように支援するか

- ・心の教育と相談活動の一層の充実(スクールカウンセラー, スクールソーシャルワーカーとの連携)
- ・教職員間での情報共有
- ・可能性を引き出す進路指導
- ・社会性を身に付けさせる生徒指導
- ・生徒との信頼関係構築のための個別面談

目指す生徒の姿

- ・心身ともに安定した学校生活を送れる生徒
- ・自分の可能性や価値を認める生徒
- ・自ら課題を見つけ, それを解決しようとする生徒
- ・円滑な人間関係の醸成を図り, 自他を認め合う生徒

何を学ぶか ○教育課程の編成

- ・国際人として活躍するために必要な幅広い教養(リベラルアーツ)
- ・国際理解を深めるための本校独自の学校設定教科・科目
- ・本校独自の英語教育・国際理解教育(ACEプログラム)
- ・総合的な探究の時間の充実(「探Q基礎」, 「探Q(課題研究)」等)
- ・見聞を広げ, 異文化理解を深める(スタディツアー)

どのように学ぶか ○教育課程の実施

- 授業第一主義 ～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～
- ・絶対的な基礎力の育成
 - ・ACEプログラム
 - ・クロスカリキュラム(地域連携・教科横断)
 - ・ICTの効果的な活用
- スタディツアーに向けた事前・事後学習

実施するために何が必要か ○指導体制の充実, 家庭・地域との連携・協働

- ・つくば市との連携
- ・筑波大学およびJICA筑波等の市内研究機関との連携
- ・つくば市内幼・小・中との連携
- ・近隣NPO法人との連携
- ・教員の指導力向上のための研修(相互授業参観, コンプライアンス研修)
- ・外部からの意見を傾聴する学校評議員会

安心・安全を守る

- ・あいさつ運動, さわやかマナーアップキャンペーン, 交通安全教室による交通マナーの意識向上
- ・防災訓練, 保健講話, 薬物乱用防止教室による危機管理意識の向上
- ・ケイタイマナーアップ講座や情報モラル講習による自己指導能力の向上
- ・校舎内外の清掃に努めることによる快適な学習環境の整備

開かれた学校作り

- ・学校説明会, 授業体験会
- ・近隣住民や小学生, 保護者等への一般公開
- ・尚志祭(文化祭)
- ・探Q発表会
- ・コミュニティスクール(学校運営協議会)の制度を利用し, 地域とともにある学校を目指す。